

タイトル

噴火災害を語り継ぐメモリアルデー

今から35年前、雲仙普賢岳の災害は、旧深江町と島原市をはじめ、島原半島に甚大な被害をもたらしました。9月15日には、当時の大野木場小学校の校舎・体育館を火砕流によって焼失しました。

大野木場小学校では、例年9月15日をメモリアルデーとして、噴火災害の記憶を語り継ぐとともに、自然災害に対する防災意識を高める機会としてきました。

今年度も下記のとおり、メモリアルデーを開催します。

※詳細は別紙計画をご確認ください。

記

- 日 時 9月15日(火) 午後1時50分～2時40分
- 場 所 大野木場小学校 体育館
- 参加者 大野木場小学校 児童59人、教職員、保護者
- 内 容 5年生の災害学習の発表
災害体験者によるパネルディスカッション
全校児童による群読と歌
- その他 感染症流行の状況次第により、規模を縮小して実施する場合がありますのでご了承ください。

担当部署	大野木場小学校	担当者	山下太英子(教頭)
直 通	0957-73-6713	E mail	ohnokoba-es@minami-shimabara.jp
詳しくは 			
担当者 連絡先			
		検索ワード	

大野木場小メモリアルデー２０２６ 実施計画

１ 趣 旨

雲仙・普賢岳の災害は、旧島原市・深江町をはじめ、島原地方全体に甚大な被害をもたらした。安全・安心な町づくりを進める中で、旧大野木場小学校の校舎・体育館等が火砕流により焼失した９月１５日をメモリアルデーとし、これまでの学習の成果の発表の機会とするとともに、メモリアル集会を通して、噴火災害の記憶を後世に伝える。また、砂防事業の重要性や防災に対する意識を高める機会とする。

２ 期 日

令和８年９月１５日（火） １３：５０～１４：４０

３ 場 所

南島原市立大野木場小学校 体育館

４ 日程及び内容

メモリアルデー２０２６ 司 会・・・運営委員会児童	
１３：５０～１３：５１	はじめの言葉（司会の児童）
１３：５１～１３：５５	校長挨拶
１３：５５～１４：１０	５年生の発表（１５分程度）
１４：１０～１４：３０	当時小中学生だった体験者によるパネルディスカッション
１４：３０～１４：３２	お礼の言葉
１４：３２～１４：３７	群読・歌「生きていたんだね」全校合唱
１４：３７～１４：４０	終わりの言葉（司会の児童）